



橋本市長
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

就任以来まもなく四年を迎えようとしております。この間、市民生活向上のため、市政運営の基本姿勢である「地域経済の活性化」「農林業の振興」「医療と福祉の充実」「心豊かな子ども育成」などの重点政策を着実に進めてまいりました。

昨年台風第21号により大きな被害を受けた年となりました。被災された市民の皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、災害対応や復旧にご尽力いただいた関係各位におかれましては、多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

災害時に、ご自身の「自助」、地域の「共助」が重要であるように、これからのまちづくりには市民の皆さまとの協働がより一層大切となります。このため、平成三十年からの十年計画として策定中の「第2次橋本市長期総合計画」においても、市民協働を中心に基本目標を掲げており、これに基づき元氣な橋本市を創ってまいります。地域と行政がコミュニケーションを深め、情報を共有しながら、今一度、自分の住んでいる地域を見直し、地域の将来像を一緒に考えていただくなど、市民の皆さまには市政への積極的なご参画をお願い申し上げます。

これからも、一人ひとりの思いが大切にされるまちづくりを、そして、一人ひとりが幸せを実感できる「元氣なまち橋本市」が実現するように取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



橋本市議会議長
岡 弘悟

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、平成三十年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

橋本市議会では、市民との情報と課題の共有、行政監視機能の強化、活発な議員間の意見交換、積極的な政策提案をあるべき姿として、改革に取り組んでまいりました。

昨年は議会提案による政策条例の制定、そして、各議員の政務活動費収支報告書のホームページおよび市議会だよりへの公開など、行政への政策立案並びに議員活動の透明性を向上させ着実にこの改革の歩を進めております。

また、特別委員会を設置し議会として種々提言をしてまいりました「第2次橋本市長期総合計画」の策定作業も最終段階にさしかかっております。

少子高齢、人口減少の時代に、「自己決定」「自己責任」という言葉に表現されるように、今、地方はあらゆる面において自らの力量が試され、新しい橋本市創生の原動力として、地域と行政との共生・協働は今後ますますその重要性が高まるものと考えます。

めどすべき我が故郷の新しい将来像を皆さまとともに見据えつつ、その実現に向け議会としての責務を果たしていく決意を新たにしております。

今後とも皆さまの力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年が実り多い良き一年でありますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



愛宕山（東家）からの風景